(様式第3号)

企業・団体名(株式会社上田建装社)

SDGs達成に向けた具体的な取組(要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴ								主	なSDG	s (17=	iール	169ع	ター	ゲット)	関連」	項目		
テ	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載)	1	2	_	_		_	_		11 12	_		_	_
リリ	, - / / X Z	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	13% 8484	2	4 finite*	€	\$ minor	* ************************************	- €	10:050m	₩ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	13 ::::::	Material Section 151	X	17 mmm2 (80)
	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を 整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、教育、昇進、福利厚生など差別のない体制が構築されており、このことに経営者が積極的に関わっている。				5.1 5.2 5.5		8. 8. 8.	7	10.2 10.3				16 16 16	6.2
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談 体制を整備している	基本			ハラスメントを禁止することを就業規則に定め、社内周知を徹底している。				5.1 5.2 5.5		8. 8.						16	1.1
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本		【予定】	長時間労働是正のために、分業化、一部業務の外注 化、作業効率向上用のソフト導入を実施している。 月1回の定時退社日導入予定						8. 8.							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	将来的に外国人実習生や外国人労働者の受け入れ を見据え、労働環境を整備する。			4.	4		8. 8.		10.2 10.3					
人権	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			協力業者も含めて、定期的に安全教育を実施。 現場監督が中心になって現場の環境整備を実施。			3			8							
労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			報告、相談窓口として社内担当者を選任して社内に周 知している。			3										
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境 の整備に取り組んでいる	基本			子育て世代の女性社員に負担がないように、有給休暇 の積極的取得や、子供を優先した休日取得を推進して いる。				5.1 5.5		8.	5	10.2 10.3					
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			社内研修の実施。社外セミナーなどの参加費を会社 負担にし、積極的に参加する機会を提供している。			4	5.5		8	9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			通常の就業規則に加えてパートタイマー就業規則を設け社内に反映している。				5.5		8.	5	10.2 10.3					
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレン ジ			年1回の健康診断を実施している。			3			8							
	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物は分別して保管し、契約している廃棄物処理業者により定期的に処分している。 古紙、ダンボールはリサイクル業者が定期的に回収をしている。									11.6 12		14.1		
環	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			社内の設備を電気に統一し、電気料金を常に確認、把握している。					7	.3				13			
境	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			LPガス使用を廃止し、給湯、暖房を電気のみに切替え 排出量抑制に取り組んでいる。車両利用の無駄を省く ように社内周知している。						.2			12.4	13.3			
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用 に取り組んでいる	基本			ホルムアルデヒドなどの有害物質を含まないシックハウス対応の建材や、自然素材、無垢材を積極的に使用した家づくりを実施している。		;	.9		6.3				11.6 12.4				

	カ				1				主なSD	Gs (1	7ゴー	-ルと169	ターケ	・ット)	関連	項目		
	カテ、	チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 (県などの取得際部があれば、併せて記載)	2	3	4 5	6	7	8 9	10	11 12	13	14		
	ゴリ		レベル	選択入力	選択入力	(県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	<u>«</u>	3 337361	I	E SERVE	7	**************************************	10 tottor** (⊕)	<u>14.</u> ∞	13:::::	14 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::	±:: <u>•</u> ±≤	¥ 8
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			現場では環境に配慮した材料を使用し、生物多様性や生態 系に悪影響がないように配慮している。				6.6							15	
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			会議資料のペーパーレス化。リサイクル業者が古紙、 ダンボールを定期的に回収してリサイクルしている。								13		14.1		
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレン ジ			自社のトイレを節水型タイプの便器に交換し、エンド ユーザーへも節水型機器を提案している。				6.4 6.6								
18	環 境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		環境マネジメント規格は取得していません。		3.9		6	7			12	13.3	3 14	15	
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ		【予定】	自社ホームページにて環境保全に対する取り組みを明 示していく。								12.6	6			
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレン ジ			エンドユーザーにたいして、ZEH住宅の提案とあわせて、太陽光発電の導入を提案している。					7.2				13			
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			自社モデルハウスに薪ストーブを設置し提案しながら、 現場からでた材木の端材を、希望する薪ストーブユー ザーに提供している								12.2	2 13	14	15	
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に明記し、周知徹底している。												16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			就業規則に明記し、周知徹底している。												16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			プレゼン図面をペーパーレス化し、モニターにてプレゼンを実施し、図面の著作権を守るように取り組んでいる。						8.2 8.3 9						
25	公正な事業	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			顧客情報管理をシステム管理し、アクセス権限を設け情報 漏えいに配慮している。												16
26	未 慣 行	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【非該当】		紛争鉱物の取り扱いはありません。												16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			取引先に関して、社会的信用性のある企業と取引する 事を徹底し、業者会などを通して情報交換している。			Ę			8	10	12	13	14	15	16 17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している		3				8 9	10					17

				F. H. St. at. V					主な	SDGs	(17ゴ	ールと	169タ	ーク	゛ット	·)関	連項目	3		
		チェック項目	取組	【非該当】 の場合	【予定】の 場合	具体的な取組 1 (県などの取得認証があれば、併せて記載) 1 (2	3			6 7	8			11					
		V = V / X =	レベル	選択入力	選択入力	(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	2 ##	3 iiiiiii -4/*	4 titem	©	7	8 Min	9 11111111	10 sattarn 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	12 C	XX 13:	№	15 1::	16 721112	₩ ₩
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			月1回の業者会にて安全教育、品質向上、現場マナー 向上についての勉強を実施している。		3.9							1	12.4				
30	製品・サー	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			新築住宅において、気密測定を実施し1棟ごとに性能 報告書を提出している。							9							
31	ビス	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			日射、採風を考慮したパッシブ設計で環境に配慮した 住宅設計に取り組んでいる。					6					12	13 14	1 15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			高齢者が安全、健康に生活できるように、省エネ、高 断熱化リフォームを提案している。	2	3	4	5	6 7	8	9	10	11	12	13 14	1 15	16	17
33	2 +	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			年1回の感謝祭を継続実施している。上田市消防団協力事業所として消防団活動に協力している。			4				9		11	12	14	1 15		17
-	地域貢献、社会貢献・	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			毎年1回、協力業者と上田城跡公園の清掃活動を継 続実施している。			4						11		14	1 15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			県産材、国産木材の利用を推進しているが、今後さら に積極的に利用していく。						8	9		11	12	13			
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			朝礼時や社内会議時に経営理念、企業理念の唱和を行い、周知浸透するように心がけている。						8	9							17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築し ている	基本			法令遵守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している。													16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整 備している	基本		【予定】	SDGsの取り組みについての確認を各部署ごとにおこな う体制を整える。													16	
39	組織	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本			弊社で建築していただいたお客様に、毎年無料メンテナンスの実施。自社感謝祭へ招待をしている。													16	17
40	体制	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			引渡し後に顧客満足度調査を実施しており、評価が低 い項目についての改善をすすめている。													16	
41		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基 づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組ん でいる。	チャレンジ		【予定】	今後、社内会議、協力業者会議にてSDGsに基づく活動により社会的責任への対応を強化していく。													16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ		【予定】	事業継承計画(BDP)の策定を行う。							9		11		13 3.1		16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ		【予定】	長期ビジョンにて後継者の育成計画を作成し、検討をすすめる。、						8	9							17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12 1	3 14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登 |録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。)
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。 (※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくり エクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制 |度、森林002吸収評価認証制度、長野県県産材002固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)
- 〇 この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA(Responsible Business Alliance)(※2)行動規範等を参考に、非財務情報(SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項)について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、 間接的 (結果として) に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、<u>赤字</u>で番号を記載
- 〇 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定